

まちへの思いを
 メロディにのせて



町立文化会館15周年記念演劇公演「おはよう、わが町」

おかえり、ただいま

～心を育む、演劇のまちづくり～ ……2

町内の民生委員・児童委員を紹介します…6 「スポーツ大会参加等激励金」を交付しました…8

「三股町史」の編さんを行っています…9 第2回みまた霧島パノラマ展…10

まちの話題…12

花と緑と水のまち
 宮崎県 三股町

3

MIMATA

PublicRelations
 3

Vol.559



広報みまた 平成29年3月1日号

発行・編集：三股町 企画政策課
 TEL：0986(52)1114 FAX：0986(52)4944
 〒889-1995 宮崎県北諸県郡三股町五本松1-1



桂よね吉落語会

「桂よね吉」が三股にやって来る!

- 日時／3月10日[金] 午後7時開演(開場は30分前)
- 料金／一般…2,000円(当日2,500円)、大学生以下…1,000円(当日1,500円)、ペア…3,000円(前売のみ)
 ※本公演は自由席です ※未就学児入場不可
 ※前売にて完売の場合「当日券」は販売しないことがあります
 ※電話予約可 ※WEB予約可(三股町立文化会館WEBサイト)
 ※大学生以下は、入場の際「学生証」の提示をお願いすることがあります
- 出演／桂よね吉・桂二葉 ■主催／三股町・三股町教育委員会



華麗な所作で色気と品を醸し出す
 新進気鋭の噺家

今年で13年目です!小・中・高校生による演劇講座・演劇ワークショップ「みまた座」13期生の本公演を上演します。今年は、平成27年度戯曲講座「せいの書」でみる、受講生の中村里枝さん(町内在住・高校2年生)が「みまた座」13期生のために台本を書き下ろしました。のびのびと元気な声で演じ、おもしろい台本も楽しんでください!



- 日時／3月26日[日] 午前11時開演・午後3時開演(2回公演・開場は開演の30分前)
- 料金／小学生以上…300円、未就学児…無料 ※上演回指定 ※全席自由
 ※電話予約可 ※WEB予約可(三股町立文化会館WEBサイト)
 ※前売にて完売の場合「当日券」は販売しないことがあります
- 出演／演劇ワークショップ「みまた座」13期生 ■主催／三股町・三股町教育委員会

作／中村里枝(27年度三股町立文化会館戯曲講座受講生、高校2年生、みまた座8〜10期・12期在籍)
 演出／永山智行(みまた座演劇監督・劇団「こく劇場」)

大塚の母の日

演劇ワークショップ「みまた座」13期生 本公演

みまた演劇フェスティバル 2017 Machi Dra!

まちなかでドラマに出会える3日間
 5月26日[金]・27日[土]・28日[日]



みまた演劇フェスティバル まちドラ! 2017

町民参加型演劇・リーディング公演「ヨムドラ!」
 町民出演者大募集中!

- 募集人数／約20人(参加無料)
- 対象／町内在住で高校生以上の方ならどなたでも!ただし「上演日の2日間とも必ず参加できる方」とします。
- 上演日時／5月27日[土]・28日[日]
- 稽古／4月上旬から開始し、夜や土・日を中心に週に1〜2回程度、公演前10日間前後から毎日の稽古となる見込みです。
- 応募方法／申込書を「文化会館 事務局」「役場 総合受付」「文化会館ホームページ[ダウンロード]」で入手してください。申込書に必要事項をご記入の上、文化会館へお持ちください。
- 応募締切／3月31日[金]

「リーディング」とは朗読劇のこと。役者は台本を手を持ってセリフを読み、簡単な動きだけで演じる劇のことです。セリフを覚えなくていいので、気軽に参加できます。経験の有無は問いません!稽古期間は約1カ月半。新しい出会いの中で、楽しくお昼をしてみませんか?

三股町立文化会館 自主文化事業

お問い合わせ・電話予約・WEB予約・チケット販売[月曜を除く午前9時〜午後5時]
 三股町立文化会館(Tel.0986-51-3462 http://www.town.mimata.lg.jp/bunka/)
 ●各公演とも前売にて完売の場合「当日券」は販売しないことがあります。



町立文化会館15周年記念演劇公演「おはよう、わが町」

おかえり、ただいま

心を育む、演劇のまちづくり

平成23年11月に町立文化会館が開設10周年を迎え、これを記念して町民参加創造演劇公演「おはよう、わが町」が上演されました。そして15周年を迎えた昨年11月、再演を熱望する多くの声に支えられ、再びこの場所に町民が集結しました。

この「おはよう、わが町」は、出演者だけでなく、台本や音楽など、全てがこれまで町立文化会館に関わってきた人たちの手で作られた地産地消の演劇です。

今回の特集では、このまち独自の取り組みを紹介しながら、これから「まちづくり」を考えます。



重ねてきた出会いから生まれたもの

昨年11月に、町立文化会館は開設15周年を迎えました。

これまで、「思い、育み、知の創造」を基本理念に、音楽や古典芸能などのさまざまな自主文化事業を展開。小ホールの特性を生かした、息づかいの届く事業を心掛けてきました。

その中でも、会館の個性といえる取り組みが演劇です。まちの未来を見据え、地域の人材を育もうと、子どもたちを対象とした演劇ワークショップ「みまた座」や、演劇の台本を書く「戯曲講座」をくりかえして「おはよう、わが町」を平成16年から開催。町民の手で作る演劇を続けてきた結果、開設10周年の節目に町民約100人が参加する「おはよう、わが町」の上演が実現しました。この公演をきっかけに、参加者の演劇への思いは一気に昇華。次の舞台を切望する声が高まってきました。

そして、わがまちの演劇は会館という枠を飛び出し、町民や九州各地の劇団と一緒に、駅や公民館などのまちなかで演劇を繰り返す「まち、ドラ！」が誕生。「小さなまちが、九州演劇の拠点として興行のある演劇を展開し続けている」と、専門誌にも取り上げられ、全国の演劇関係者から高い評価を受けています。

町民参加創造演劇「おはよう、わが町」

この「おはよう、わが町」は、アメリカの劇作家ソントン・ワイルダーの『わが町』を原作に、昭和30年代から平成までの三股の風土や歴史を織り込みながら、「普通の人の普通の暮らし」を描いています。

出演は、一般公募で集まった30人の町民を中心に、みまた座13期生や劇団こぶく劇場の俳優陣が脇を固めました。また、特別出演として梶山棒踊り保存会の皆さんや勝岡小学校の子どもたちも舞台上に華を添えました。このほか、町内在住の音楽家が劇中の音楽・演奏を担当し、戯曲講座受講生の町民9人が台本を執筆。舞台裏を支えたサポートスタッフ、ポスターの原画や題字も全て、このまちの人たちの手で作られた「芸術文化の地産地消」と呼べる作品です。

本公演の構成・演出を手掛けたのは、劇団こぶく劇場の代表、永山智行さん。みまた座・戯曲講座の立ち上げから本町の演劇事業を支えてきた永山さんは、「性別も、年齢も、生きてきた道のりも違う人たちが、この広場（会館）で出会い、自由に表現する。全国でも珍しい奇跡のような場所がこのまちにはあり、その瞬間に立ち合っていることを幸せに感じます」と目を細めます。





出会うや経験が与えてくれたもの

演劇は私の大切な居場所

「みまた座」戯曲講座「まちドラ！」
「おはよう、わが町」を経験

中村里桜さん（高校2年）

友達に誘われたことをきっかけに、小学6年生でみまた座に入り、初めてスポットライトを浴びたのが「おはよう、わが町」の舞台でした。自分に自信が持てず、周囲からの評価を気にする性格の私にとって、大人に混ざっての稽古は不安でした。しかし、永山さんをはじめとする劇団こぶく劇場の劇団員、会館スタッフや出演者の皆さんは、「こうしなさい」と指示をするのではなく、できたことをいつも褒めてくれました。年齢に関係なく、一人の人間として接してくれるのです。「指導者」や「大人」ではなく「仲間」という感覚。こうした仲間からの励ましの声が私の自信となり、自由に自分を表現することができるようになりました。また、私の演劇との関わりを間近

で見ていた母も興味を持つようになり、「まちドラ！」や「おはよう、わが町」で同じ舞台に立つことができました。演劇をきっかけに家族の話も増え、毎日が充実しています。演劇には、人と人の心をつなぐ、不思議な力を感じます。台本を暗記して話すだけでなく、状況をイメージしながら相手と呼吸を合わせ、日常の会話に近づけていく。相手の心情を理解し、コミュニケーションがとれていないと演劇は成立しません。小学生から演劇に触れるようになり、大人に近づくにつれて、こうした経験の積み重ねが普段のものの方や考え方にも変化をもたらしていることを実感します。受験勉強に専念するため演劇から離れた時期もありましたが、無事高校に合格し、演劇を再開するとみんなが「おかえり」と温かく迎え入れてくれました。演劇は、自宅以外にも素直に「ただいま」と言える場所であり、心が落ち着く私の大切な居場所となっています。

思い、育み、知の創造

「みまた座」、「戯曲講座」や「まちドラ！」などをおして人のつながりが生まれ、人のつながりができたからこそ、「おはよう、わが町」という一つの文化が生まれました。このまちで暮らす私たちが会館という広場に集まり、喜びや感動を共有する。これこそまさに、会館が基本理念として掲げてきた「思い、育み、知の創造」の姿なのです。こうした取り組みは、全国的に高く評価され、「2012年度地域創造大賞（総務大臣賞）」を県内で初めて受賞。子どもたちの心の成長を願い、地域のつながりを大切にしながら撒き続けてきた文化の種が花開いたのです。

町民30人を核に、4カ月以上の稽古を重ねた「おはよう、わが町」公演。出演者総数80人を超える努力の裏では、40人もの裏方が準備に奔走しました。そしてその誰もが、込み上げる感動を胸に感謝の言葉を交わし、ものづくりの楽しさと奥深さに気づきます。「まちづくりは人づくり」。本町が目指す協働のまちづくりの大きな手がかりがここにあります。

おかえり、ただいま

「おはよう、わが町」公演の最後に、出演者全員で主題歌「おかえり、ただいま」を合唱しました。
「おかえり」
「ただいま」
「おはよう」
「おやすみ」
何気なく普通に過ぎていく、ごく当たり前に私たちが過ごしている日常。年齢も、生きてきた道のりも違う人たちが、それぞれに過ごしている毎日で「今」があることを歌った歌です。この合唱の途中で涙を流す人がいました。涙の理由は分からないけれど、言葉にできない思いがあふれたといいます。ここで過ごしてきた時間がそうさせたのかもしれない。4人で思いを話してくれた中村里桜さんが感じているように、「おかえり」と温かく迎えてくれる場所がここにあります。多くの人たちがここで出会い、感動を分かち合い、文化の今を、そして未来を創造する場であるために、会館という広場は、私たちが集まることを心待ちにしています。

Information

本県が 国民文化祭開催地に内定

「オリンピック・パラリンピック競技大会」が日本で開催される2020年、国民文化祭の開催地が本県に決定しました。演劇はもちろん、音楽、美術や伝統芸能など、あらゆる文化活動の祭典が行われます。町立文化会館も、県内の文化施設と連携した事業を展開していく予定です。皆さんの参加をお待ちしています。

演劇ワークショップ「みまた座」 13期生本公演

「太陽の昇る日」 （作／中村里桜・演出／永山智行）

まちの未来を担う小・中・高校生が参加する演劇ワークショップ「みまた座」の本公演を上演します。今年、みまた座卒団生で平成27年度戯曲講座受講生の中村里桜さんが台本を書き下ろし、子どもたちの躍動感あふれる演技をお楽しみください。

- 日程：3月26日（日）
- 開演：午前11時・午後3時
- ※ 開場は、開演の30分前です。
- 料金：小学生以上11300円

町立文化会館15周年記念演劇公演「おはよう、わが町」 おかえり、ただいま



町内の 民生委員・ 児童委員を 紹介します

「民生委員・児童委員」は、
私たちの暮らしの相談員です

民生委員・児童委員とは、厚生労働省から委嘱を受け、担当する地区の要保護者（低所得者、児童、障害者、高齢者、母子、寡婦など）の相談や指導を行う「地域の相談者」です。また、行政機関や社会福祉施設の協力・連絡調整など、地域福祉の増進のための活動も行います。任期は3年で、全国で約23万人の委員が活動しています。

昨年12月1日に新しい委員が決まりました。それぞれの家庭の悩み事や心配事に対して親身になって相談に応じます。また、児童福祉に関する問題を専門的に担当する「主任児童委員」が地域の民生委員・児童委員と一体となって子どもたちの健全育成や子育て支援のために活動していますので、気軽にご相談ください。

問い合わせ 福祉課 社会福祉係
☎ 52-9061

お気軽にご相談ください!

【平成28年度民生委員・児童委員名簿】 ※氏名、担当地区の順（かっこ内数字は支部名です）



和田 文夫(わだ ふみお)
西植木(1~5)



島 時勝(しま としかつ)
東原(1~4・14)



山中ルミ(やまなか るみ)
中原



坂元 寿美子(さかもと すみこ)
餅原



猿渡 征夫(さるわたり ゆくお)
勝岡



山裾 義春(やます よしはる)
西植木(6~9)



西川 まり子(にしかわ まりこ)
稗田(1・4)



東 朝子(ひがし あさこ)
今市(3・4・6・7・9)



原田 順一(はらだ じゅんいち)
三原



今村 良子(いまむら よしこ)
前目(2~4)



嶋田 松夫(しまだ まつお)
西植木(9~13)



南畑 幸三(みなみはた こうぞう)
稗田(2・3・5・6)



山下 節子(やました せつこ)
今市(1・2・5・8・10)



大重 透(おおしげ とおる)
上新



下村 勉(しもむら つとむ)
前目(1・5・6)



鈴木 純子(すずき じゅんこ)
梶山(5・6・9)



児玉 多可子(こだま たかこ)
寺柱



藏元 定則(くらもと さだのり)
中米



隈田原 カチ子(くまたばら かつこ)
仲町(6・8~11)



津曲 香代子(つまがり かよこ)
山王原(1・7・16・17)



黒木 香子(くろき かよこ)
三股町全域(主任児童委員)



伊達 博美(だて ひろみ)
東植木(1~7)



坂元 慶子(さかもと けいこ)
花見原



大重 末雄(おおしげ まつお)
下新(5・6・11・13・14)



内村 ふたみ(うちむら ふたみ)
蓼池(1~3・8・14・16)



尾山 明子(おやま めいこ)
轟木



野崎 英明(のさき ひであき)
大鷲巣、高畑



大脇 辰美(おおわき たつみ)
櫛田



原田 恵津子(はらだ えつこ)
仲町(1~5・7)



田中 純子(たなか じゅんこ)
山王原(3・4・5・8)



榎所 信博(さいしょ のぶひろ)
三股町全域(主任児童委員)



長倉 澄子(ながくら すみこ)
東植木(8~11・13)



西田 光春(にしだ みつはる)
東原(5~8・13)



福田 清子(ふくだ きよこ)
下新(1~4・7)



中村 敏治(なかむら としはる)
蓼池(9~13・15・17)



馬渡 静子(まわたり しずこ)
仮屋



今村 實宣(いまむら さねのり)
田上



下石 正秋(しもいし まさあき)
谷



上西 和晴(かみにし かずはる)
上米(4~7)



山下 愛子(やました あいこ)
山王原(6・10・12~14)



小牧 八壽子(こまき やすこ)
三股町全域(主任児童委員)



竹村 弘子(たけむら ひろこ)
東植木(12・14~20)



田中 光寛(たなか みつひろ)
東原(9~12・15~17)



児玉 陽子(こだま ようこ)
下新(8~10・12・15・16)



南畑 正喜(みなみはた まさき)
蓼池(4~7)



松崎 政行(まつざき まさゆき)
大野、大八重



今村 珠江(いまむら たまえ)
梶山(1~4・7・8)



原村 利江(はらむら としえ)
小鷲巣



下村 健治(しもむら けんじ)
上米(1~3)



三浦 好子(みうら よしこ)
山王原(2・9・11)

「アスリートタウンみまた」のさらなる飛躍を目指して 「スポーツ大会参加等激励金」を交付しました

10～12月に「三股町スポーツ大会参加等激励金」の交付を受けた皆さんです（敬称略）。この激励金は、本町のスポーツ振興・競技力の向上を目的に、県・九州代表として大会などへ参加する場合に交付されます（ただし、国民体育大会、学校体育団体が主催・主管する大会や強化合宿・学校活動の一環として開催される大会は除きます）。



- ①「ソフトバレー」ナチュラル（楠和代：第24回全国ソフトバレーシニアリーグフェスティバル 鳴門大会（10月7日～9日・徳島県））
- ②「弓道」迫田次郎・ねんりんピック長崎2016（10月15日～17日・長崎県）
- ③「バドミントン」三股バードウイング（本城達広（監督）・外山慶喜・鈴木大樹・松枝陽士・宮里七星・松田歩大・金丸明生・相葉涼那：第33回全九州小学生バドミントン選手権大会（10月22日～23日・佐賀県））
- ④「ラグビー」森山翔斗：第17回ジュニアラグビー九州ブロック大会（10月8日～10日・熊本県）
- ⑤「少林寺拳法」少林寺拳法三股（多田加代子（監督）・出口弘一・海老原紫月・川崎春陽・泊瀨亜・波田晃輝・川崎空人・折田舜稀・前田琉華・南野陽向・多田一世・泊友綺妃・西村瑛翔・海老原翔太・福田雅治：2016年少林寺拳法全国大会inおいた（10月29日～30日・大分県））
- ⑥「ソフトバレー」庄内クラブ（畑中緑・川畑康子：平成28年度ソフトバレー九州ブロック総合フェスティバルin佐賀（11月12日～13日・佐賀県））
- ⑦「バドミントン」三股バードウイング（松枝陽士：第15回日本バドミントンジュニアグランプリ2016（11月25日～27日・宮城県））
- ⑧「レスリング」WellnessKids都城レスリングクラブ（河野偉舜・中石皓大：第7回全国中学生選抜レスリング選手権大会（11月26日～27日・東京都））
- ⑨「バドミントン」三股バードウイング（本城達広（監督）・相葉海之介：第25回全国小学生バドミントン選手権大会（12月23日～27日・滋賀県））
- ⑩「バレーボール」宮崎県選抜チーム（京牟礼佑芽：第30回全国都道府県対抗中学バレーボール大会（12月25日～28日・大阪府））
- ⑪「バレーボール」スینگ（蔵川千代巳・小林浩子：平成28年度全国ママさんバレー九州ブロック大会（1月21日～22日・佐賀県））

「三股町史」の編さんを行っています「資料紹介編：第2弾」

今回は、昨年12月号に続く資料紹介の第2弾です。松山家所蔵資料の中から江戸時代のものを中心に紹介します。

新馬場の松山家に伝わる資料の一部を紹介します。

松山家は、「庄内地理志」の巻一〇一に記載があり、その先祖は関ヶ原の戦いや鳥原の乱にも参加しています。さらには、長田地区の有力者であったことが分かります。

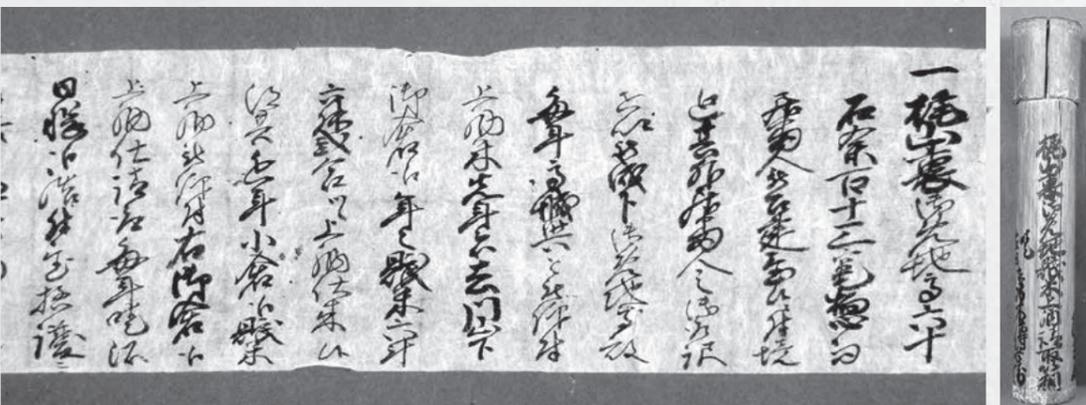
【資料1】は、棟札と呼ばれるもので、基本的にはその建物に関する記録が書かれてあり、建物内部の高い所に取り付けられました。写真の拡大部には「土蔵作覚」とあり、「松山太兵衛」の名前も記されています。松山家には2枚の棟札が残っていて、蔵作りに必要な材料、経費や携わった人名、かかった日数などが両面にびっしりと墨で書かれています。年代は、文化13（1816）年の江戸時代後期のもので、とても貴重な資料です。今回紹介した資料は、「町史」で活字化し、解説を行う予定です。



【資料1】：棟札（大きさ：縦32㍓×横140㍓）



【資料2】：日帳箱、安政3年（1856）のもの。大きさは幅59㍓×奥行34㍓×高さ39.5㍓で、「梶山暖所」と書かれています。



【資料3】：竹筒（右）と中に入っていた文書（縦13㍓×横32.5㍓）。竹筒には「梶山裏御免地賦米納請取箱」と書いてあり、鉄砲打ちの指南書も入っていました。

※古い資料が見つかったときは、教育課までご連絡ください。 教育課生涯学習係 ☎52-9311



しのぎを削る熱戦が繰り広げられた



元気いっぱいがんばるぞー！



寒さに負けず元気にスタート



手作りの甘酒にランナーも笑顔



多くのボランティアが大会を支えた



ゴール後の笑顔が伴走者への信頼の証し



子どもたちも懸命に応援



ファミリーの部は手をつないでゴール

第2回 みまたの 霧島パノラマ まらそん

1,608人が力走

1月22日、「第2回みまたん霧島パノラマまらそん」が開催されました。ふれあい中央広場をスタート・ゴールとする2キロ・3キロ・5キロ・ハーフの各部門に、町内外から1,608人が参加。オープニングでは、北海道からの参加者に「遠来賞」、最高年齢の男女1人ずつに「最高年齢賞」が贈られました。手をつなぎ笑顔でゴールする参加者も多く、会場

は大きな歓声に包まれていました。また、豪華景品が当たる抽選会などが行われたほか、完走後には豚汁や宮崎牛なども振る舞われ、笑顔があふれる大会となりました。

本大会のボランティアスタッフは、自治公民館をはじめ、三股・都城管内の高校や三股中学校の生徒など約700人。沿道の声援も加わり、地域が力を合わせて大会を支えました。



参加者インタビュー
北海道から参加
山中敦夫さん(54)

「北日本では冬季にマラソンが行われないため、この大会の参加が楽しみでした。三股町は気候も人の心も温かかったです」





町と宮日会都城・北諸支部
包括連携協定を締結

1月19日、町役場で、「三股町と宮崎日日新聞宮日会都城・北諸支部（山下純市支部長）との包括連携協定締結式」が行われました。これは、地域をきめ細かく回る新聞配達員の利点を生かし、町と同支部が連携して地域の安全や町民サービスを向上させることを目的としています。



三股北販売所 代表 先本耕司さん（中原在住）

「早朝から各家庭を回る利点を生かし、地域の安全を暮らしの一助になれたらと思います。」



長田小学校児童
地域の食と農を学ぶ

1月26日、長田小学校（岡本佳三校長、25人）で、「食と農に関する授業」が開催されました。これは、地元食材や畜産などへの理解を深める目的でJA経済連が毎年開催しているもの。この日は、県内の畜産の現状などを学んだあと「手作りソーセージ教室」を体験しました。児童たちは、調味された豚肉を羊の腸に詰め、思いの大きさに成形。初めて体験した児童も多く悪戦苦闘しながらも、ソーセージの形ができるたびに歓声を上げていました。



参加者 津曲綺良梨さん（長田小3生）

「初めて体験しましたが、みんなと楽しく作ることができました。家ででも作ってみたいですね。」



柔らかい絵本に触れて
布絵本で読み聞かせ

1月31日、子育て支援センターで、ふわふわ布絵本（宇都野千鶴子代表、11人）が読み聞かせを行いました。この日は、手作りの布絵本を使って「コンコンクシヤンのうた」などを子どもたちと一緒に歌いながら読み聞かせしました。また、節分にちなんで『鬼のパンツ』を歌いだすと、手作りのお面や衣装をつけた鬼が登場。子どもたちは驚きながらも、鬼が笑顔で歌いながらお菓子を配ると、子どもたちは安心して様子で笑顔を見せていました。



参加者 假屋麻生さん 壮吾くん（仲町在住）

「楽しいイベントがあり、ママ友のつながりも広がるので、これから通うのが楽しみです。」



第二地区厄年会
町内の6園で豆まき

2月3日、2地区厄年会（出水直樹代表、11人）が、町内の保育園・認定子ども園で豆まきを行いました。これは、第二地区に古くから伝わる伝統で本厄を迎えた男性が地域の行事に参加しながら一年間かけて厄払いを行うものです。この日は、六つの園を回って豆まきを開始。鬼が姿を現すと、園児たちは驚いていましたが、勇気を出して「鬼は外！」と邪気を追い払うと優しい鬼に豆やお菓子などを拾った後は、一緒に歌やダンスなどを行いました。



第二地区厄年会 代表 出水直樹さん（谷在住）

「地域の方々に楽しんでもらいながら、みんなの笑顔で厄をはらってほしい」と思っています。



未来への決意新たに
三股中立志式

2月9日、町立文化会館で三股中学校（笠牟田保昌校長、778人）の2年生が立志式を行いました。これは、昔の元服に倣い、未来への決意を新たにすることが目的です。式では生徒代表7人が決意作文を発表。場内からは盛大な拍手が送られました。また、スライドショーや合唱に続く第二部は、本町出身で航空大学校監事の時任勝正さんによる講演。自身の体験をもとに「未来は自分で可能にするもの」と話し、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。



実行委員長 前田琉慧くん（三股中2生）

「これまでは周囲に頼ることが多くありましたが、自立心を持ち、自分で判断して行動していきたいです。」

若い発想力で地域活性化へ
地産地消料理コンクール



2月4日、都城東高校で「第5回三股町地産地消料理コンクール」が開催されました。これは、町農畜産物利用地域活性化推進協議会（白尾知之会長、8人）が、地産地消の推進などを目的に開催しているものです。

この日は、同高校調理科の2年生35人が「料理」「デザート」「加工」の3部門に分かれて参加。生徒たちは、町内の生産者から提供されたバイオ茶、ポーク、プチヴェール茎葉粉、みみまたんごま、食べる甘酒のうちいずれかを使用し、趣向を凝らした創作料理を完成させました。

審査員は、生産者や菓子店経営者など17人。採点の結果、料理部門は小川玲奈さん、加工部門は小田楓さん、デザート部門は稲留安望さん、佐藤悠果さんのグループが優秀賞を獲得したほか、各部門から合計6組が入賞しました。同協議会では、今回の出品作品を地域の新たな創作料理として活用していくことを検討しています。



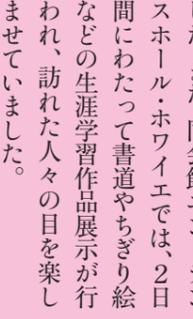
加工部門優秀賞 小田楓さん（都城東高2生）

「食材の良さが調和するように試行錯誤を重ねました。ジャンルにとわらず何でも作れる料理人になりたいです。」

3部構成で2日間
華やかに「文化の祭典」

2月11〜12日の2日間、「三股町文化の祭典」(同実行委員会主催)が、町立文化会館で開催されました。初日は第一部「童謡まつり」で開幕。園児やコーラスグループなど14団体が息の合ったハーモニーを披露しました。また、特別ゲストとして延岡市出身の女性デュオ「Spirit」も出演。2人のハーモニーに、観客は皆うっとりとして聴き入っていました。

同日午後からは、第二部「文化芸能まつり」を開催。三股短歌会の会員と小中学生が自作の短歌を発表する「歌詠み会」のあと、町内の文化団体から5団体と師匠2人が和太鼓や舞踊を披露し、会場は大きな拍手に包まれていました。翌日は、第三部「元氣まつり」。町教委主催教室などで生涯学習に励む33団体が日頃の稽古・練習の成果を発表しました。また、同会館エントランスホール・ホワイエでは、2日間わたって書道やちぎり絵などの生涯学習作品展示が行われ、訪れた人々の目を楽しませていました。



参加者 堀内紀代子さん（夢池在住）

「毎回とても緊張しますが、歌うことで喘息が治り、歌には感謝しています。これからも歌い続けたいと思います。」



元氣まつり：キョドピクス 歌詠み会 文化芸能まつり：若柳流集人会

～大人も一緒に「食育」～
★楽しく・賢く・きちんと食べる★

いきいき げんき!

毎月19日は 食育の日 ●問い合わせ：健康管理センター ☎52-8481

旬の食材は おいしい! 栄養価が高い! 安い! といったこと尽くしです。旬の食材を使った健康バランス食を紹介します。ご家庭での献立にご利用ください。

3月の旬食材…水菜

アブラナ科の緑黄色野菜です。サラダなどの生食だけでなく、炒め物、汁物や鍋物など、加熱してもおいしく食べられます。
※材料は全て1人分です。

◎主菜 ブリの塩焼き

207kcal 塩分0.6g

材料 ブリ…1切れ(70g)、塩…小さじ1/10、油…小さじ1/2、ミニトマト…3粒
作り方 ①容器に塩と油を入れて混ぜ、ハケでブリに塗り、10分おく。②グリルで焼き、ミニトマトを添える。

◎副菜 ひじきと水菜サラダ

52kcal 塩分0.4g

材料 水菜…30g、ヒジキ(乾)…3g、レモン汁…1/8個分、だし汁…小さじ1、薄口しょう油…小さじ1/4、ゴマ油…小さじ1、白ゴマ…少々
作り方 ①水菜は長さ3センチに切り、水気をよく切ってボウルに入れておく。②ヒジキは水で戻し、水気をよく切る。③フライパンにゴマ油を入れ、ヒジキとだし汁を加えて炒める。④熱いうちに水菜の上に重ね、レモン汁をかけてなじませる。

◎主食 ひし形寿司

448kcal 塩分2.2g

材料 米…1/2合、○酢…小さじ2、○砂糖…小さじ2、○塩…小さじ

1/6、卵…1/2個、★砂糖…小さじ1/4、★塩…小さじ1/10、鶏ミンチ…30g、○砂糖…小さじ1/3、○しょう油…小さじ1/3、○ショウガ汁…小さじ1/5、かまぼこ…20g、キュウリ…50g

作り方 酢飯を作る：①○の調味料を混ぜ、合わせ酢を作り、硬めに炊いたご飯と混ぜ合わせる。

卵そぼろを作る：①鍋に卵と★の調味料を入れ、混ぜながら弱火にかける。②菜箸数本で混ぜながら、いり卵をなるべく細かく作る。

鶏そぼろを作る：①鍋にひき肉と○の調味料を入れ、混ぜながら弱火にかける。②菜箸数本で混ぜながら、汁気がなくなるまで煮る。

①かまぼこはみじん切りにする。②キュウリは薄くちよう切りにして、軽く塩を振り、しっかり絞る。③牛乳パックを高さ10cmに切り、皿にひし形に立てて、酢飯→キュウリ→酢飯→そぼろ→酢飯→卵、かまぼこの順に重ね、上から押しながらパックを外す。

◎もう一品 イチゴとオレンジ

40kcal 塩分0g

材料 イチゴ…50g、オレンジ…50g



外国語指導助手のコーナー

ALITの希望

1月22日に、都城市で「都城ワールドフェスタ」が開催されました。ALITの仲間たちが演奏したり、外国を紹介するブースを出したりして、「みまたん人」や都城の人たちと交流しました。みんな笑顔で文化交流し、こんな日が毎日続けばいいなと思いました。

私の仕事は、英語を教えるだけでなく、文化交流もその一つです。外国人は何でも挑戦しようとするので、日本の文化をたくさん経験しています。しかし、私たちは日本人に外国の文化を伝えづらいと感じ

ています。理由は、一般的に日本人はとてもシャイだからです。例えばスパーで生徒に会ったとき、恥ずかしがって私に話しかけようとしません。

東京五輪・パラリンピックが近づいてくるので、文化交流は必要だと思います。みまたん皆さん、一緒に文化を交換しましょう！英語でも日本語でもいいので話しかけてください。日本のことを教えてくれたら、外国のことを教えます。これは私の希望です。



ヘイリー・クロス

青年海外協力隊 in ウガンダ共和国 (第17回)

※「Oli otya」は、ルンガ語で「元気ですか」の意味です。



三股町職員 佐々木 義和

残りのウガンダ生活も3分の1を切り、より精力的に動かなくてはと少し焦り始めている今日この頃。パートナーと進めてきた養鶏プロジェクトでクローラーと呼ばれる品種を120羽育て、収入向上につなげようとして取り組んできました。現在、ウガンダ西部で発生した鳥インフルエンザの余波を受けながらも、育てた鶏の卸し先を探すことに奮闘しています。しかし、深刻な干ばつで餌となる作物が育たず、餌代が高騰。今期のプロジェクトは完全に赤字経営となってしまいました。それでもパートナーは「知識も経験も得た。次こそは成功させる」と大きな闘志を燃やしています。少しでも力になれるようにサポートを頑張ります。お腹いっぱい焼き鳥、から揚げ、チキン南蛮が食べたいです！
Weraba (ではまた!) 子どもたちも餌やりを手伝っています



●福岡の人気劇団がやって来た

1月14～15日、自主文化事業 演劇公演『月ろけつ』が行われました。

上演したのは、福岡の劇団「万能グロブ」が主催する「ロブガイナモス」。子どもも大人も楽しめるコメディタッチのお芝居で人気を博している劇団です。この公演は、福岡・熊本・東京を巡り、最後に三股にやって来ました。



『月ろけつ』本番の様子



みまた座13期生メンバー

Culture 文化会館
Mimata
©問い合わせ 三股町立文化会館
〒889-1901 三股町大字榊山3404-2
TEL.51-3462 FAX.51-3561

●元気いっぱい「みまた座」

3月26日、演劇ワークショップ「みまた座」13期生・本公演「太陽が昇る日」が行われます。「みまた座」とは、小中高校生を対象とした演劇講座です。6月に始まり13期生の集大成になるこの本公演。三股の子どもの元気がいっぱいのお芝居をお楽しみください。

●お芝居に挑戦してみませんか?

5月26～28日、みまた演劇フェスティバル「まちドラ!2017」が行われます。6年目になるこのイベント、今年も町民出演者を募集します。公演内容は、30分程度の短編作品を朗読劇の形で上演します。

台本を持って演じる形なので、せりふを覚えることなく誰でも気軽に参加できます。演劇に興味のある人や新しいことに挑戦したい人は、ぜひ応募ください! 詳しくは、本誌裏面をご覧ください。

【図書館職員が見たえほん侍】

平成26年6月15日(日)父の日に町立図書館へ参上した「えほん侍」。今年で4年目に突入し、当時1人だった侍も今では7人となりました。なかなか全員集合はできませんが、毎月第1日曜日の午後3時に参上してくれます。7人のえほん侍を紹介します。

ブラックリーダー侍：「えほん侍」のリーダー。その読み声は、俳優・森本レオのナレーションを連想させる、ゆるふわ癒やしボイス。子ども参加型の読み聞かせを得意として、まずは、おはなし会の主導権をつかみます。

グリーン侍：第2の侍としてグリーンを襲名しました。低いバリトンボイスは、深さが光ります。大きな絵本担当。

ブルー侍：第3の侍。常にリーダーを補佐する、頼れる副リーダー。ブラックリーダー侍同様の癒やし担当。

イエロー侍：第4の侍。昭和の戦隊もののイエローさながら、巨漢で大きな

お腹が特徴です。豪快なしゃべりは、食べ物系のお話とお笑い担当。演技力・表現力は、グループ内随一です。

ワインレッド侍：侍望の第5の侍。滑舌が良く大きな声で豊かな表現力があるので、こちらもかなりの演技派です。

こども侍(ちび侍)：第6の侍。「こども侍(ちび侍)」は、小学校1年生のときに読み聞かせデビューしました。昨年の「まちドラ!」では、30人以上の観客の前で物怖じもせず、見事な読み聞かせを披露した大物で、ワインレッド侍とは親子です。

オレンジ侍：第7の侍は、読み聞かせの前振りとして、「手遊び」をして、子どもたちの心をわしづかみにします。落ち着いた声と安定した演技力で、頼りになる存在です。

女性が多い「読み聞かせグループ」の中で、異彩を放つ彼らのこれからの活躍に、乞うご期待です!

■休館案内は、21ページからのカレンダーをご覧ください。



7人のえほん侍



まちドラ!で読み聞かせるこども侍

Library 図書館
Mimata
©問い合わせ 三股町立図書館
〒889-1901 三股町大字榊山3406-8
TEL.51-3200 FAX.51-3751

2017三股町春まつり」を開催します

毎年恒例となりました「三股町春まつり」を次のとおり開催します。

【上米公園 桜まつり】

500本のソメイヨシノが咲き誇る、サクラの名所上米公園。まちを一望しながら満開のサクラをお楽しみください。

■開催期間＝3月17日(金)～4月上旬※開花状況で変更あり

■会場＝上米公園(三股町大字樺山115番地1)

■ライトアップ＝開催期間中の午後6時30分～9時30分

【椎八重公園 つつじまつり】

4.6畝の園内に約6万本のクルメツツジと50本の八重桜が同時に咲き誇る椎八重公園。真紅のツツジとそびえる山の緑のコントラストが醸し出す優雅な自然をお楽しみください。

■開催期間＝4月8日(土)～4月下旬※開花状況で変更あり

■会場＝椎八重公園(三股町大字長田5515番地1)

◎つつじセレモニー 2017

■日時＝4月8日(土)午前11時～セレモニー終了後、200人にツツジの苗木をプレゼントします。整理券配布は午前10時30分からの予定です。

◎シャクナゲの苗木プレゼント

■日時＝4月15日(土)午前11時～先着200人にシャクナゲの苗木をプレゼントします。整理券配布は午前10時30分の予定です。

【早馬公園 早馬まつり】

都城市母智丘の大祭とともに都城・北諸地方の二大まつりといわれる本町の早馬まつり。郷土芸能などの奉納のほか、ダンスやミマタレンジャーショーなど、多彩な催しをお楽しみください。

■開催日時＝4月29日(土・祝)、午前9時～午後3時

■会場＝早馬公園・早馬神社境内周辺

■内容＝郷土芸能(ジャンカン馬踊り、棒踊りなど)、ステージ(文化協会、ミマタレンジャー、三股中学校吹奏

楽部)などを予定しています。

※別会場で柔道大会(武道体育館)、弓道大会(弓道場)、四半の大会(四半的弓道場)などの開催も予定しています。

※各祭りの日程などは変更になる場合があります。

【しゃくなげの森 しゃくなげ花まつり】

■開催期間＝～4月1日(土)～5月7日(日)

■会場＝しゃくなげの森(長田5268番地)

【春まつりの問い合わせ先】
町観光協会事務局(産業振興課内)
☎52-9085

町民参加型演劇「ヨムドラ」出演者募集

5月27～29日に「まちドラ! 2017」の中で行われる朗読劇の参加者を募集します。朗読劇とは、「台本を読みながら簡単な動きだけで演じていく劇」のことです。経験の有無は問いません。幅広い世代の皆さんとともに、楽しく稽古をしながら、出会ったみんなの力で一つの作品を完成させてみませんか?

■募集人数＝約20人

■対象＝町内在住で高校生以上の人。ただし、「上演日の2日間とも必ず参加できる人」とします。

■上演日＝5月27日(土)～28日(日)

■稽古＝4月上旬から夜や土・日を中心に週に1～2回程度。公演10日ほど前から毎日の稽古となる見込みです。場所は主に町立文化会館です。

■参加費＝無料

■応募方法＝申込書に必要事項を記入し、町立文化会館に提出してください。申込書は「文化会館事務局」「役場総合受付」「文化会館公式サイト[ダウンロード]」で入手してください。

奨学生・教育ローンの申し込みを受け付けます

●奨学生を募集します

＜三股町奨学資金＞

町では、次のとおり奨学生を募集します。希望する人は、期間内にお申し込みください。

■対象者＝次の条件を全て満たす人

①父母またはこれに代わる法定代理人が町内に住んでいる人

②大学・短大・専修学校・高専・高校(通信制・定時制課程を除く)に在学し、その学校長または卒業した学校長の推薦がある人

③学業、人物ともに優秀かつ健康で、学資の支払いが困難な人

④高校生、高専生はそのほかの奨学機関から、大学生・短大生・専修学校生は都城育英会から学資の支給または貸与を受けていない人

■募集人員＝6人(予定)

■貸与月額(無利子)＝

①高校生、高専生・・・1万円

②大学生、短大生、専修学校生・・・2万5,000円

■貸与期間＝4月～平成30年3月までの1年間

※継続して貸与を受ける場合は、毎年3月に継続の手続きが必要です。

■申込方法＝3月上旬から教育課(中央公民館内)で配布する「募集要項」をご確認ください。

※大学、短大、専修学校の新入学生は、(公財)都城育英会にも申し込みをしていることが条件です。ただし、併給はできません。

■申込期間＝4月3日(月)～12日(水)

■問い合わせ＝教育課 学校教育係
☎52-9314

＜(公財)都城育英会＞

(公財)都城育英会では、次のとおり奨学生を募集します。希望する人は、期間内にお申し込みください。

■対象者＝次の条件を全て満たす人

①本町または都城市出身で、保護者が町内または都城市に住んでいる人

②平成29年4月に大学、短期大学、専修学校の専門課程に進学する人(ただし通信制・定時制課程は対象外、省庁大学校も対象外)

※それぞれ学校教育法第1条・108

条・124条に規定する学校
③学業、人物ともに優秀かつ健康で、経済的理由で修学困難な人

■募集人員＝30人程度

■貸与月額＝月額3万円(無利子)

■申込方法＝2月中旬から配布する「募集要項」をご覧ください。

※募集要項は、町教育委員会教育課、都城市教育委員会学校教育課、各総合支所地域振興課、各地区市民センター、三股町・都城市の各高等学校などで配布しています。

■申込期間＝

4月3日(月)～12日(水)

■問い合わせ＝都城市教育委員会内 公益財団法人都城育英会事務局
☎25-8545

＜三股町提携 教育ローン＞

■対象者＝町内に住み、子どもが高校、専門学校、短大、大学などに入学または在学している年間所得900万円以下の人

■条件＝完済時年齢が65歳未満で、町税などを滞納していない人

■融資額＝200万円以内

■返済期間＝10年以内(最長4年の元金据え置き期間を含みます)

■金利＝年1.30%(平成29年3月まで。それ以後は未定です)

※別途保証料が必要です。

■申し込み・問い合わせ＝九州ろうきんローンセンター都城
☎23-2257

＜国の教育ローン(日本政策金融公庫)＞

高校、大学などへの入学時・在学中に掛かる費用を対象とした公的な融資制度です。

■対象者＝高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、大学などに入学・在学する人の保護者

■融資額＝学生1人につき350万円以内

■利率＝年1.81%
※母子家庭、父子家庭または平成28年11月10日現在で世帯年収200万円(所得122万円)以内の人は年1.41%

■問い合わせ・申し込み＝ホームページ

ジ「国の教育ローン」で検索

・教育ローンコールセンター

☎0570-008656(ナビダイヤル)

・ナビダイヤルが利用できない場合

☎03-5321-8656

年金相談は事前予約が便利です

現在、全国の年金事務所で、年金の予約相談を実施中です。

これから年金を受給する予定の人や、年金受給者で各種手続きや相談を希望する人は、予約をすることでスムーズに年金相談を受けることができます。

相談しようとする日の1カ月前から、前日までに電話予約をしてください。予約するときは、基礎年金番号の分かる年金手帳や年金証書をご準備ください。

■問い合わせ＝

都城年金事務所

☎23-2571

【予約専用】ねんきんダイヤル

☎0570-05-1165

経済対策分臨時福祉給付金を支給します

この臨時福祉給付金は、平成26年4月実施の消費税率引き上げに伴う所得の少ない人への影響を緩和するために給付金を支給するものです。

支給対象になる可能性がある人には、3月上旬に申請書などを送付します。

■支給対象者＝以下の条件を全て満たす人が対象となります。

・平成28年1月1日時点で町内に住民登録をしている人

・平成28年度住民税が非課税の人

・平成28年度住民税の課税者に扶養されていない人

・生活保護を受給していない人

■支給額＝1人につき1万5,000円

■受付期間＝

・郵送受付：3月6日(月)～6月15日(木)

・窓口受付：4月3日(月)～6月15日(木)

※申請書などが届いてから手続きをしてください。

■申請方法＝①②のいずれかの方法で申請を行ってください。

①同封の返信用封筒で郵送する「郵便申請」

②町役場の臨時福祉給付金業務室で行う「窓口申請」

町福祉・消費生活相談センターでは相談を受け付けています

町福祉・消費生活相談センターでは消費生活のトラブルなど、さまざまな相談を受け付けています。お困りのことがありましたら、ぜひご利用ください。

■相談内容＝

・心や体の悩み

・職場や家庭などの人間関係の悩み

・借金(多重債務)や訪問販売

・商品やサービスの契約解除

・架空請求詐欺

・インターネットでの消費者取引

■相談日＝月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)

■時間＝午前9時～正午、午後1時～4時

■問い合わせ＝町福祉・消費生活相談センター
☎52-0999

愛のご寄付

■寄付者一覧

平成29年1月1日から1月31日まで社会福祉法人 三股町社会福祉協議会

・忌明寄付

寄付者	続柄	故人名	年齢	地区	金額
今村 幸一	母	幸子	88	前目	3万円
久富ユリ子	夫	昭弘	89	東植木	2万円
大村 清美	父	南直義	78	田上	3万円
時任美のふ	夫	純一郎	92	梶山	10万円
富田マチ子	夫	秀記	61	東植木	3万円
小牧 良弘	母	ウキ子	94	藤木	3万円
上原 朝子	夫	平	82	上米	3万円
福永 佳代	母	西村智恵子	81	東植木	3万円
政野真由美	義母	サダ子	84	谷	2万円

Children

子ども

健康管理センターからのお知らせ

●健康管理センター ☎52-8481

●マザークラス、パパママ教室

■期日＝

- マザークラス＝3月10日(金) 午前10時～正午
- パパママ教室＝3月12日(日) 午前10時～正午

■持ってくるもの＝母子健康手帳

※軽い体操ができる服装でおこしく下さい。

●赤ちゃん健診

■期日＝4月6日(木)

※新しい日程表は、4月以降に役場1階案内や健康管理センターに設置し、町公式サイトでもお知らせします。

■受付＝午後1時～1時30分

■対象者＝

- 健診＝平成28年3月、9月、平成29年1月生まれの乳児
- 相談＝平成28年5月、7月、11月生まれの乳児

■準備するもの＝母子健康手帳(おっぱい相談希望者はタオル3枚程度をお持ちください)

※子どもの月齢に応じて医師の診察を行います。おっぱい相談や栄養相談も実施しますので、ぜひご利用ください。

子育て支援センターからのお知らせ

●子育て支援センター ☎52-8101

●子育て支援センターに遊びにきませんか？

子育て支援センターは、町総合福祉センター「元気の杜」の中にある、親子で遊べる広場です。未就学の子どもとその保護者が利用できます。※保護者同伴が原則です。

月・火・木・金曜日の午前9時～正午まではセンターを開放しています。また、開放日に合わせて毎月楽しい行事や教室を行っています。

子どもと遊べる場所を探している、お友達をつくりたいお母さんたちは、ぜひ親子で遊びに来てください。

《今後の催し》

●友達つくり！一緒にあそぼう！

子育て中のママたちのサークル「いもん子クラブ」と手遊びや製作を通して触れ合ひましょう。

■期日＝3月16日(木)

■時間＝午前10時～11時

●親子ふれあいコンサート

笑顔を運ぶ音楽団「小さな音楽会」の、生の歌と演奏で楽しい時間を過ごしましょう。

■期日＝3月28日(火)

■時間＝午前10時～11時

■場所＝総合福祉センター「元気の杜」大会議室

●おはなし会

読み聞かせボランティアグループ「おおきな木」による

読み聞かせを行います。

■期日＝4月6日(木)

■時間＝午前10時～11時

ファミリー・サポート・センターたんぽぽからのお知らせ

●ファミリー・サポート・センターたんぽぽ ☎51-5688

当センターは、ご近所で助け合う子育てを組織化したものです。

”依頼者は信頼・安心して預け、
提供者は大切にかわいがって預かってくれる”

そんな、お互いにとって優しさと喜びが響き合うことを大切にしながら活動を行っています。

- ・子育てを手助けしてほしい人→おねがい(依頼) 会員
- ・子育ての援助をしたい人→まかせて(提供) 会員

育児を頑張り過ぎていませんか？地域の人に甘えてみませんか？

1人で悩まず、まずは気軽に相談してください。

●利用料金の助成を行っています

子ども1人1時間あたり200円の利用助成を行っています。

※子どもを2人以上預ける場合は、これまでどおり2人目から基準額の半額ですが、利用料の助成は1人目だけとなります。

《現在行っている援助活動》

- ・用事やリフレッシュをしたいときの預かり
- ・習い事への送迎
- ・幼稚園・保育園などへの送迎
- ・児童館などへの迎えと預かり
- ・校区外学校への送迎

●まかせて会員を随時募集中です

地域の子育てを応援する「まかせて会員」を随時募集しています。送迎の協力だけでも構いません。

まずは電話でお問い合わせください。時間外は留守番電話で対応しています。お名前・電話番号をメッセージに残してください。こちらから、かけ直します。

General

一般

健康管理センターからのお知らせ

●健康管理センター ☎52-8481

●リズムウォーキング

■期日＝3月13日(月)

■時間＝午前10時～11時

■場所＝健康管理センター

※音楽に合わせてながら、ストレッチや「歩く」動作を中心とした運動を行っています。動きやすい服装で、室内履きをお持ちになれば、すぐに参加できます。先生や地域

の人たちと、一緒に楽しく体を動かしましょう。

●エクササイズクラブ

町健康管理センターでは、19歳以上の町民に限り、運動ホールの無料開放を行っています。3月からは、夜間の運動ホール開放を再開しますので、ぜひご利用ください。

※運動ホールの使用可能な日や時間帯は、毎月発行しているカレンダーや町の公式サイトでご確認ください。

●高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種はお済みですか？

3月31日(金) までが助成対象期間です

肺炎の原因となる細菌やウイルスは多数ありますが、高齢者がかかる肺炎の約半数は、肺炎球菌が引き起こしているとされています。肺炎球菌ワクチンは、1回接種すると約5年は効果が持続し、接種年齢が若いほど免疫が付きやすいといわれています。65歳になったら、肺炎球菌ワクチンを接種しましょう。

※肺炎球菌感染症の予防接種は全ての肺炎を防ぐものではありません。

■接種対象者＝下記の①②のどちらかに当てはまる人

①町内に住所があり、生年月日が当てはまる人
(誕生日がきていなくても受けられます)

65歳：昭和26年4月2日～昭和27年4月1日生まれ

70歳：昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生まれ

75歳：昭和16年4月2日～昭和17年4月1日生まれ

80歳：昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生まれ

85歳：昭和6年4月2日～昭和7年4月1日生まれ

90歳：大正15年4月2日～昭和2年4月1日生まれ

95歳：大正10年4月2日～大正11年4月1日生まれ

100歳：大正5年4月2日～大正6年4月1日生まれ

②60歳～64歳で、心臓、腎臓、呼吸機能に障害がある人、またはヒト免疫不全ウイルスの影響で免疫の機能に障害がある人で、極度に日常生活が制限されている人。

※過去5年以内にワクチンを接種した人、医師の診察の結果、予防接種を受けることが適当でない人と判断された人は対象外です。

■接種場所＝町内・都城市内の指定医療機関

■接種料金＝接種対象者の個人負担2,500円

※町が1回に限り4,500円負担します。

●3月3日は「耳の日」です

耳は、生活をしていくうえで、外からの音の情報を得るための大切な器官です。耳の病気がなくても、長時間の大きな音、疲労や過度のストレスなどで耳の聞こえが悪くなることもあるので、気を付けましょう。次のような不調を感じたら、耳鼻咽喉科で受診しましょう。

- ①耳が塞がった感じがする
- ②音が響いて聞こえる
- ③耳鳴りがする
- ④耳が痛い

⑤めまいがする

⑥普段と違う耳垢が取れる

<耳の掃除の注意点>

2～3週間に1回を目安として耳の掃除をしましょう。

耳垢を取りすぎると、皮膚を荒らしてしまい、湿疹になることがあります。耳垢には、皮膚の保護や虫などの侵入を防ぐ役割があるといわれていますので、掃除し過ぎないことも大切です。

耳かきや綿棒で耳掃除しましょう。

爪楊枝などを使うと、耳を傷つけてしまいます。また、耳垢がある程度たまっているときに綿棒を使うと、耳垢を奥に押し込めてしまうことがあるので注意しましょう。

使用後の耳かきは、アルコールが含まれているウェットティッシュで拭くなどして、清潔に保管しましょう。

鉛筆立てなどに挿していると、雑菌が繁殖します。

Advanced age

高齢者(介護保険)

地域包括支援センターからのお知らせ

●三股町地域包括支援センター ☎52-8634

●ノルディックウォーキング教室

町では、防災を切り口にした地域づくりの一環として、ノルディックウォーキング教室を開催しています。

この教室は、町地域包括支援センターと町社会福祉協議会が共同で開催するもので、災害のときに歩いて避難できる体力づくりを主な目的としています。また、地域の危険箇所や避難経路の確認、地域の見守り活動や児童の登下校の見守り、高齢者の引きこもり防止や介護予防、地域での多世代交流のきっかけ作りなど、さまざまな目的も含まれています。

ノルディックウォーキング専用ボールの貸し出しも行っていきますので、開催を希望する地区や団体などありましたら、気軽に地域包括支援センターまでお問い合わせください。

●足もと元気教室

■日程＝3月16日～3月31日までの分

地区名	時間	場所	期日
第1地区	午前9時30分～11時	第1地区分館	3月17日(金)
第5地区	午後1時30分～3時	轟木集落センター	3月16日(木)
蓼池	午前9時30分～11時	蓼池児童館	3月16日(木)
餅原	午前9時30分～11時	餅原堂農研修館	3月27日(月)
中原	午前9時30分～11時	中原地区 コミュニティセンター	3月22日(水)
第8地区	午前9時30分～11時	第8地区分館	3月24日(金)
第9地区	午後1時30分～3時	第9地区分館	3月22日(水)

■準備するもの＝体操のできる服装、シューズ、水分補給用の飲み物
※3月1日～15日の日程は『広報みまた先月号』をご参照ください。



◎ 今月の表紙

『紡ぐ、音』



心つながる、手作りの舞台

昨年11月に上演された町民参加創造演劇公演『おはよう、わが町』の主題歌を作曲した町内在住の歌手、かみもと千春さん。劇中でものびのある歌声で舞台を演出し、会場を一つにしました。かみもとさんのように、本町には2万5000人を超えるさまざまな才能ある人材がいて、その全ての町民の思いが合わさって、まちが創られています。

みまた 暮らしのカレンダー

3月1日(水)～4月15日(土)

※休日急患診療機関の診療時間は午前9時～午後6時です。やむを得ず変更する場合がありますので、☎23-5555でご確認ください(夜間は都城夜間急病センター☎36-8890まで)。なお歯科については☎25-4100にお問い合わせください。

◎ 3月の予定

1	水		
2	木		
3	金	・可燃物	
4	土		
5	日	◎沖水子どもクリニック(小) ☎27-5656(太郎坊町) ◎柏村内科(内) ☎22-2616(上 町) ◎しげひらクリニック(内) ☎27-5555(神山町) ◎福島外科胃腸科医院(外・胃) ☎38-1633(都北町) ◎酒井皮膚科医院(皮) ☎25-5322(北原町) ◎岩下耳鼻咽喉科(耳鼻) ☎51-1187(三股町)	
6	月	・可燃物	・図書館休館日
7	火	・可燃物	
8	水		
9	木	・白色トレイ・ペットボトル	
10	金	・可燃物	
11	土		
12	日	◎畠中小児科医院(小) ☎52-6000(三股町) ◎有川呼吸器内科医院(呼・内) ☎24-6677(上川東) ◎戸嶋病院(内) ☎22-1437(都元町) ◎吉見クリニック(外・整・内) ☎58-5633(高城町) ◎もちお蛸原医院(整・形) ☎21-5355(蔵原町) ◎ふたみ眼科(眼) ☎38-5532(都北町)	
13	月	・可燃物	・図書館休館日
14	火	・可燃物	
15	水		・図書館休館日
16	木	・缶・瓶	
17	金	・可燃物	
18	土		
19	日	◎原田医院(内・小・外) ☎26-3330(都元町) ◎村上循環器内科クリニック(循・内) ☎25-2700(宮丸町) ◎あきつき医院(内・心・内) ☎36-0534(上水瀧町) ◎柳田病院(歯・外) ☎22-4862(東 町) ◎池之上整形外科(整・リハ・リウ) ☎23-2311(上川東) ◎小山田眼科医院(眼) ☎22-0710(松元町)	
20	月	◎久保原田中医院(内・小) ☎22-7700(久保原町) ◎松山医院(内・呼・吸・リウ) ☎24-1046(上川東) ◎田中隆内科(内) ☎52-0301(三股町) ◎吉松病院(外・整) ☎25-1500(蔵原町) ◎速見泌尿器科医院(泌) ☎24-8344(妻ヶ丘町) ◎いわよし耳鼻咽喉科クリニック(耳鼻) ☎36-5555(千 町)	・可燃物 ・図書館休館日
21	火	・可燃物	・図書館休館日

22	水		
23	木	・不燃物	
24	金	・可燃物	
25	土		
26	日	◎教山内科医院(内・小) ☎62-1205(高崎町) ◎藤元総合病院(内) ☎22-1717(早鈴町) ◎園田光正内科医院(内) ☎38-5115(太郎坊町) ◎飯屋外科胃腸科医院(外・胃・内・直門) ☎25-7712(志比田町) ◎飯田整形外科クリニック(整) ☎46-5115(上 町) ◎西浦医院(耳鼻) ☎22-0715(松元町)	
27	月	・可燃物	・図書館休館日
28	火	・可燃物	
29	水		
30	木		
31	金	・可燃物	

◎ 4月の予定

1	土		・図書館休館日	
2	日	◎飯屋医院(内・小) ☎36-0521(上水瀧町) ◎宮永病院(内・胃・外) ☎22-2015(松元町) ◎隅病院(内・胃) ☎62-1100(高崎町) ◎都城フォレストクリニック(脳神経外科) ☎80-4313(下川東) ◎なかはま整形外科(整) ☎46-7188(都北町) ◎吹上耳鼻咽喉科医院(耳鼻) ☎21-4133(鷹 尾)		
3	月	・可燃物	・図書館休館日	
4	火	・可燃物		
5	水			
6	木			
7	金	・可燃物		
8	土			
9	日	◎ふくしまクリニック(内・消・小) ☎46-5001(下川東) ◎森山内科・脳神経外科(内) ☎21-5000(南鷹尾町) ◎長倉医院(内) ☎52-2109(三股町) ◎山路医院(外・内) ☎64-3133(山田町) ◎いき形外科心臓クリニック(心) ☎45-0020(年見町) ◎やの耳鼻咽喉科(耳鼻) ☎27-5222(吉尾町)		
10	月	・可燃物	・図書館休館日	
11	火	・可燃物		
12	水			
13	木	・白色トレイ・ペットボトル		
14	金	・可燃物		
15	土			

ある年の7月、私はその日の配達を終え、会社に戻る途中でした。その日は、午前中に配達が終わったので、昼食を食べ、午後3時ごろには会社に帰れると思いつきながら運転をしていました。しばらく走ったときでした。それを深く気にすることもなく運転を続けていたのです。会社に近づくにつれ眠気はどんどん強くなっていきましたが、「もうすぐ会社に着くから大丈夫だろう」と何の根拠もない自信があったのです。そして、そのときがきました。「ガーン」激しい音と衝撃。そして痛みで私は気がついたのでした。運転をしながら居眠りをし、対向車線をはみ出して対向車にぶつかってしまっただけです。気がついたときには、エアバックが飛び出し、眉間が切れて血が落ち、車のフロントとシートに右足が挟まれ身動きがとれない状況でした。

シートベルトをしつかりとしていたため、この程度で済んだのかもしれません。足が挟まり動けなかったため、相手の方がどうなってしまったのか確認にも行けず、救急車を呼ぼうと思っても携帯電話は衝撃でどこかにいってしまい何もできませんでした。私は「相手の方が大丈夫でいて下さい」と、ずっと祈っていましたが、その夜、相手の方が亡くなったと聞かされました。

そのことを聞いたとき、「亡くなっ

考えの甘さの結末

①

交通事故はもうたくさん……
あがな 贖いの日々

M・O 27歳 運送業

「た」という言葉が頭の中を埋め尽くしてしまいました。悪いのは自分なのに。「なぜ自分は生きているのか、自分が死ねばよかったのに」と、ずっと考えていました。(以下省略)

※ 贖いとは、罪を償うという意味。ここに掲載してある手記は、交通事故を引き起こして刑務所で罪の償いをしていく人たちの悔いの記録です。一瞬の過ちによって、家族、恋人、友人など親しい人々から隔絶され、自ら犯した罪を反省している様子が文脈の端端から伝わってきます。このような悲惨な事故を引き起こさないよう、心の戒めにしていきたいと思えます。(一財)東京交通安全協会提供

交通事故(人身)発生ワースト順位 ◎県内第7位 / 平成28年12月31日現在(全26市町村中) ※ワースト…悪い方からの順位

税

「固定資産課税台帳」「土地・家屋価格評価縦覧帳簿」を無料で縦覧・閲覧できます

平成29年度の「固定資産課税台帳」と「土地・家屋価格評価縦覧帳簿」を無料で縦覧・閲覧できます。

- 縦覧・閲覧日時
 - ・期日＝4月3日(月)～5月1日(月)
 - ※ただし、土曜・日曜・祝日を除く。
 - ・時間＝午前8時30分～午後5時
 - ※ただし、午後0時15分～1時を除く。
- 縦覧・閲覧場所
 - ・税務財政課(町役場1階5番窓口)
- 縦覧・閲覧ができる人
 - ・固定資産の所有者本人
 - ・固定資産の所有者の同意を得た人

● 税務財政課からのお知らせ

- 固定資産税の納税管理人、相続人代表者(届け出をしている人) ※窓口に来る人の印かん(認め印可)、本人確認ができるもの(運転免許証など)が必要です。
- ※固定資産の所有者以外の方が縦覧・閲覧をするときは「委任状」が必要です。
- 縦覧・閲覧に係る手数料
 - この期間に限り、縦覧・閲覧をするときは手数料が掛かりません。ただし、縦覧・閲覧以外の各種証明書が必要な場合、発行手数料が必要となります。ご注意ください。

固定資産税納税通知書を送付します

4月上旬に固定資産税の納税通知書を送付します。この通知書に記載されている「課税明細」と、今回縦覧(閲覧)できる内容は同じものです。記載内容に不明な点がありましたら、資産税係までお問い合わせください。

■ お問い合わせ＝資産税係 ☎52-9636

・町税の納付は「安心・便利・確実」な口座振替のご利用を！ ・この社会 あなたの税が生きている ・たばこは町内で買いたし



心を満たす挑戦の日々
ふるさとで広げる人の縁

流れるような指さばきから奏でられるギターのやわらかい音色。中学生のときにロックバンド「ザ・ブルーハーツ」に憧れたバンド少年は、音楽を究めるため音楽大学に進学。卒業後は東京でギタリストとしての道を歩み始めた。しかし、星の数ほどミュージシャンがいる都会での生活は安定せず、大好きな音楽を心から楽しめなくなっていた。そんなとき、地元の友人から演劇公演での演奏の誘いを受けて帰郷。試行錯誤を繰り返しながら約1カ月かけて演劇と音楽の息を合わせていく初めての経験に胸が躍った。そして公演を終えた瞬間、これまでにない感動が込められた。生まれ育ったまちの人の心の温かさが身に染み、ここで音楽を続けることを決意。現在は、教室を持ちながら、フラメンコや演劇など新たな世界に挑戦し、大好きな音楽に没頭する毎日を送っている。

クロージングアップ
まちを支える人たち 95
三原在住 柳田裕輔さん(29)

三股文芸

217

「短歌」◆三股短歌会

冬の陽に光りて流るる大淀川 林路の果ては太平洋か

乗畑 洋子 今年、地元の神社で年明けを迎えました。たくさんの人に交じりてお参りすることでした。

児島 順子 冬の陽を浴びてゆったりと流れる大淀川。紅余曲折を経て長い旅を続ける川の流れと人生を重ねながら、行き着く先に思いを巡らせました。

わが家の一番星



坂元来成くん
平成28年2月17日生まれ(1歳)
坂元誠さん・成美さんの次男



岡林結李ちゃん
平成28年4月11日生まれ(0歳)
岡林竜次さん・くるみさんの次女

わが家の一番星

わが家の一番星
町内在住で3歳以下のお子さんについて、掲載申込書に写真を添えてお申し込みください。

ご長寿万歳
町内在住で80歳以上の元気な高齢者について、掲載申込書に写真を添えてお申し込みください。

※「わが家の一番星」「ご長寿万歳」の掲載申込書は町役場にあり。また町公式サイトからダウンロードすることもできます。
(町公式サイトアドレス… <http://www.town.mimata.lg.jp/>)

問い合わせ 企画政策課 地域政策係 ☎52-1114(直通)

茶しよけ
5年ぶりの再演となった「おはよう、わが町」。参加者たちは再会に胸を躍らせ、新しい出会いに緊張しながらも、4カ月以上に及ぶ稽古を重ねてきました。その舞台裏で40人の裏方が稽古に寄り添い、衣装を揃え、食事の段取りをし、あらゆる準備に奔走する。その姿を目の当たりにして、「このまちに生まれてよかった」と心から思いました。一人一人が楽しみながら、みんなで一つの目標に向かう。まさに、まちづくりの原点だと思えます。▽文化会館がオープンしたとき、私は会館に勤務してました。当時の職員全員が会館運営の知識も経験もなくて、手探りの毎日でしたが、15年たった今、こんなにも地域に愛される広場となっていることを誇りに思います。さらに5年後、10年後はどうなっているのでしょうか。考えるのがワクワクしてきます。まちづくりは人づくり。便利なものであふれる現代だからこそ、大切なものを見失わないようにしていきたいと思えます。それでは、またがんそ！(へりんの原音)です。▽「またね」という意味。

町の生い立ち
いろいろと発掘される土器などから、新石器時代より三股町各所に人が住んでいたことがわかります。また、その名の起源は「古くから川三条、股になりて流れたり」と古書にあって、明治初年、五戸長を一丸として、戸長役場と改称しました。当時の地頭・三島通庸(みしまちつね)は荒涼たる原野に土木を興し、産業を奨励し、教育の振興を図って村づくりを成し、ここ三股の基礎が築かれたのです。

明治22年、町村制実施により三股村となり、昭和23年5月3日に町制を施行して名実共に三股町として発足しました。以来自治の発展に努め、文化農村建設へとまい進し、今や数多くの企業誘致により町民の所得向上を図りながら町民参加型の「自立と協働で創る 元気なまち」を目指し、躍進しています。

- 町章/町の木「イチョウ」を図案化したもので、外形は丸く円満で輪、すなわち和やかさを表し無限を意味しています。
- 町の花/サツキ
- 町の鳥/ホオジロ
- 町の木/イチョウ

三股町の人口	平成29年2月1日現在
・男/11,799人・女/13,652人・計/25,451人(前月比+6人)	
・世帯数/10,057戸(+4戸)・出生/20人・死亡/36人	
・転入/77人・転出/55人	

No.559 2017.3
発行・編集/三股町 企画政策課
〒889-1995 宮崎県北諸県郡三股町五本松1番地1
TEL0986-52-1111(代表) FAX0986-52-4944
町公式URL: <http://www.town.mimata.miyazaki.jp/>
町FacebookURL: <https://www.facebook.com/mimatatown>

三股町物産館よかもんや 情報発信コーナー

んじや様 だより 第53回

穴の開いた新鮮野菜
才田正弘さんの「レンコン」を紹介致します。皆さん、レンコンと聞いて浮かぶのは水煮の白いレンコンではないでしょうか。才田さんのレンコンは、勝岡小学校近くの水田を利用して栽培されているので、掘りたての新鮮なものが店頭並びます。弁当や食卓に、珍しい町内産のレンコンをぜひ一度ご賞味ください。味も食感も絶品のおすすめの商品です。

才田正弘
【ナン】一袋500円〜生産者・

お部屋を明るく♪
彩の葉さんの「切り花」を紹介致します。稗田地区に店舗を構える人気の生花店「彩の葉」さんが、2月からよかもんやの店内で花の販売をすることになりました。店頭入口に季節の花を各種取り揃えてくれます。色とりどりの花のおかげで空間も気持ちもさらに明るくなりました。お部屋の飾りやプレゼントなどにいかがでしょうか。

彩の葉
【切り花】各種 1500円〜販売者・

桃の節句じゃ! いよいよ本格的に春じゃのお!

三股町物産館よかもんや

〒889-1990 宮崎県北諸県郡三股町大字樺山4421番地22(JR三股駅隣)
☎0986(52)3131
営業時間/午前9時30分〜午後6時30分
定休日/毎月第3木曜

<https://facebook.com/mimata.yokamonya>